



2010年10月期決算及び
「2011 中期経営計画」
説明会資料

2011年1月7日
株式会社 ミロク
(証券コード 7983)



目次

- I. 会社概要 …… p.2
- II. 連結業績の実績と予想 …… p.9
- III. 「2011 中期経営計画」 …… p.15



会社概要



会社情報

- 社 名 株式会社ミロク(大証2部上場)
- 本社所在地 高知県南国市篠原537-1
- 代表者 代表取締役社長 弥勒 美彦
- 創業/設立 1893年2月/1946年7月(2003年5月 持株会社体制移行)
- 資本金 863百万円(発行済株式総数 15,027千株 2010年10月31日現在)
- 事業内容及びグループ企業

セグメント名称	主な事業内容	グループ企業	
猟銃事業	猟銃の製造及び販売	◎ミロク製作所 ※ミロク工芸	◎南国ミロク ◎梶原ミロク
工作機械事業	深孔加工機・工具の製造及び販売	◎ミロク機械	◎MIROKU MACHINE TOOL INC.
自動車関連事業	自動車用ハンドルの製造及び販売	◎ミロク製作所	※ミロクテクノウッド
その他の事業	木工製品の加工及び販売	◎ミロク製作所	

◎:連結子会社 ※:持分法適用の関連会社

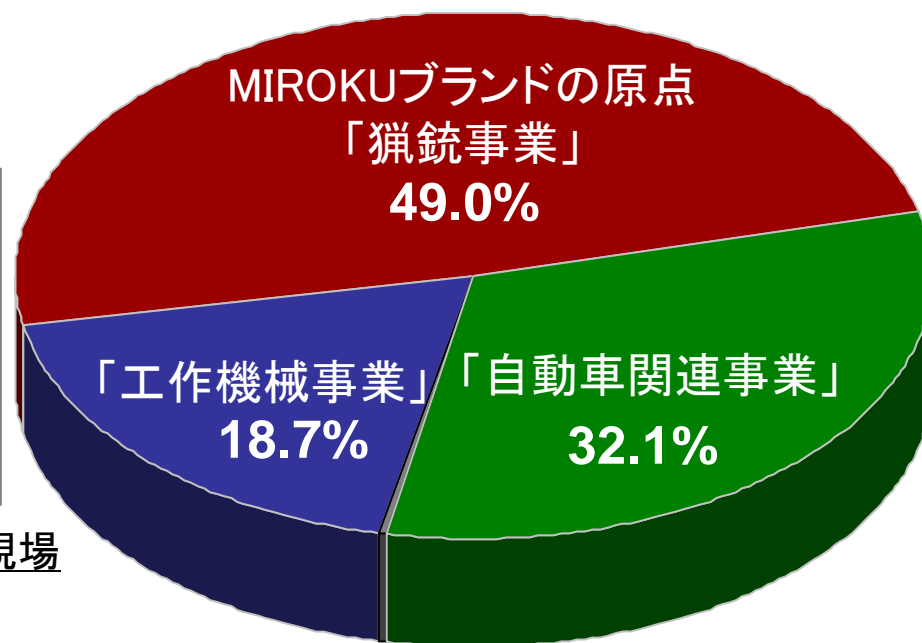
MIROKUグループの特色：事業構成

1. 「猟銃の製造」が中核事業の一つ。わが国では珍しい事業構造。
2. 「猟銃づくり」の技術をベースに中核3事業へと多角化に成功。
3. 中核3事業の“強み”を活用した事業展開を推進中。

連結売上構成：10,544百万円（10/10期）



世界屈指の猟銃づくりの現場
から生まれた事業



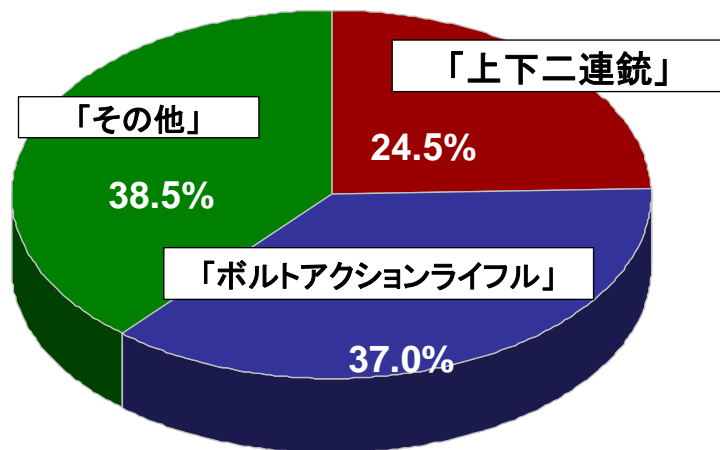
工業製品の代表「自動車」
に活かされる“匠の技”

「その他の事業」0.2%

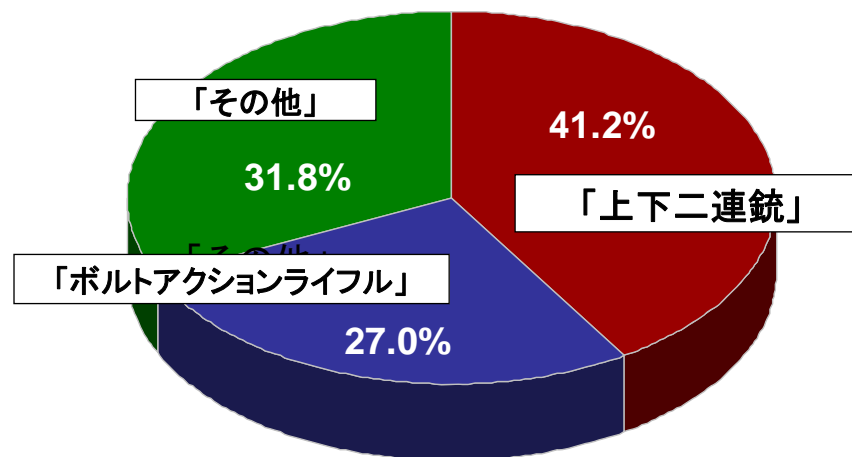
猟銃事業の特色と商品ラインナップ

1. 米国ブローニング社がビジネスパートナー。海外売上比率99%。
2. 機能性・堅牢性・芸術性が求められる「上下二連銃」に強い。

販売数構成: 10万丁弱 (10/10期)



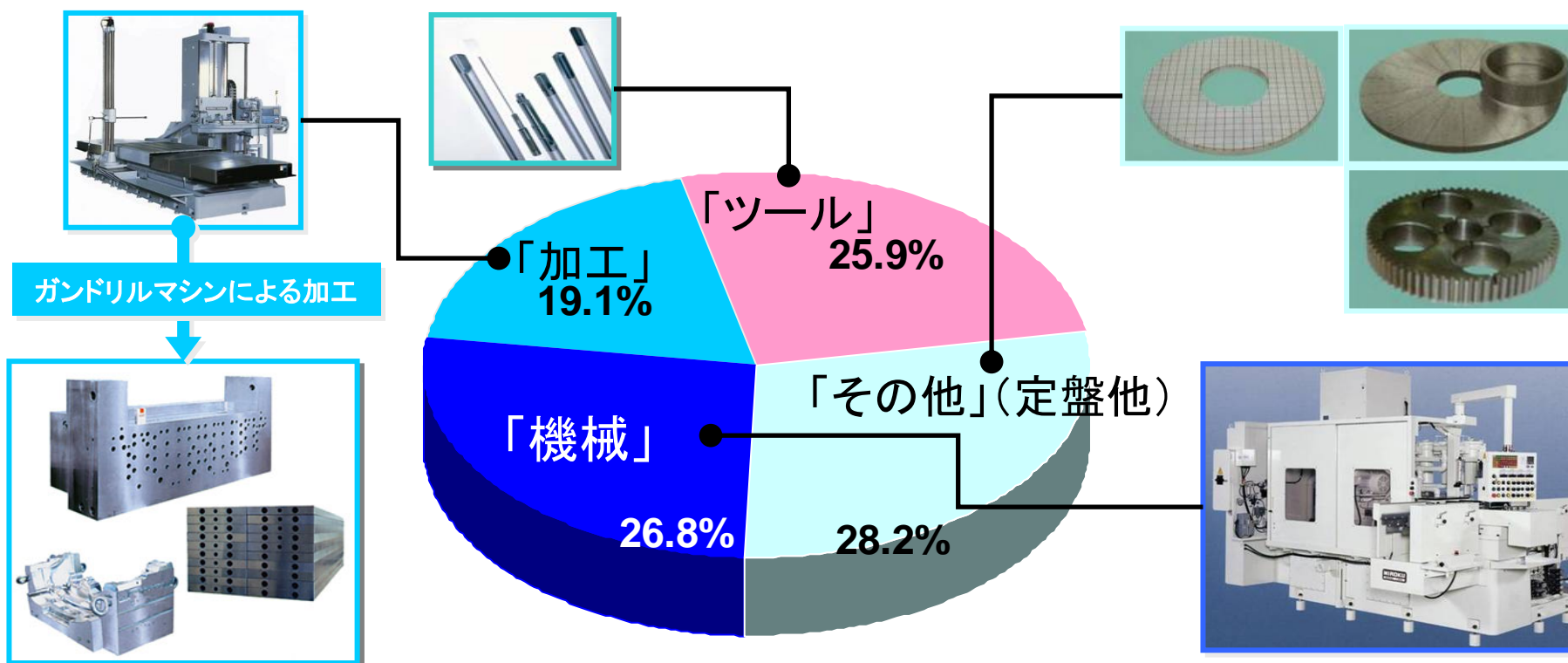
売上構成: 5,165百万円 (10/10期)



工作機械事業の事業内容

- 事業の支柱は特殊な深孔加工機「ガンドリルマシン」の製造販売。
- 主要販売先は「自動車関連業界」、取引先の6割以上を占める。
- 今後「機械部門」の廉価版及び「ツール・加工部門」に注力していく。

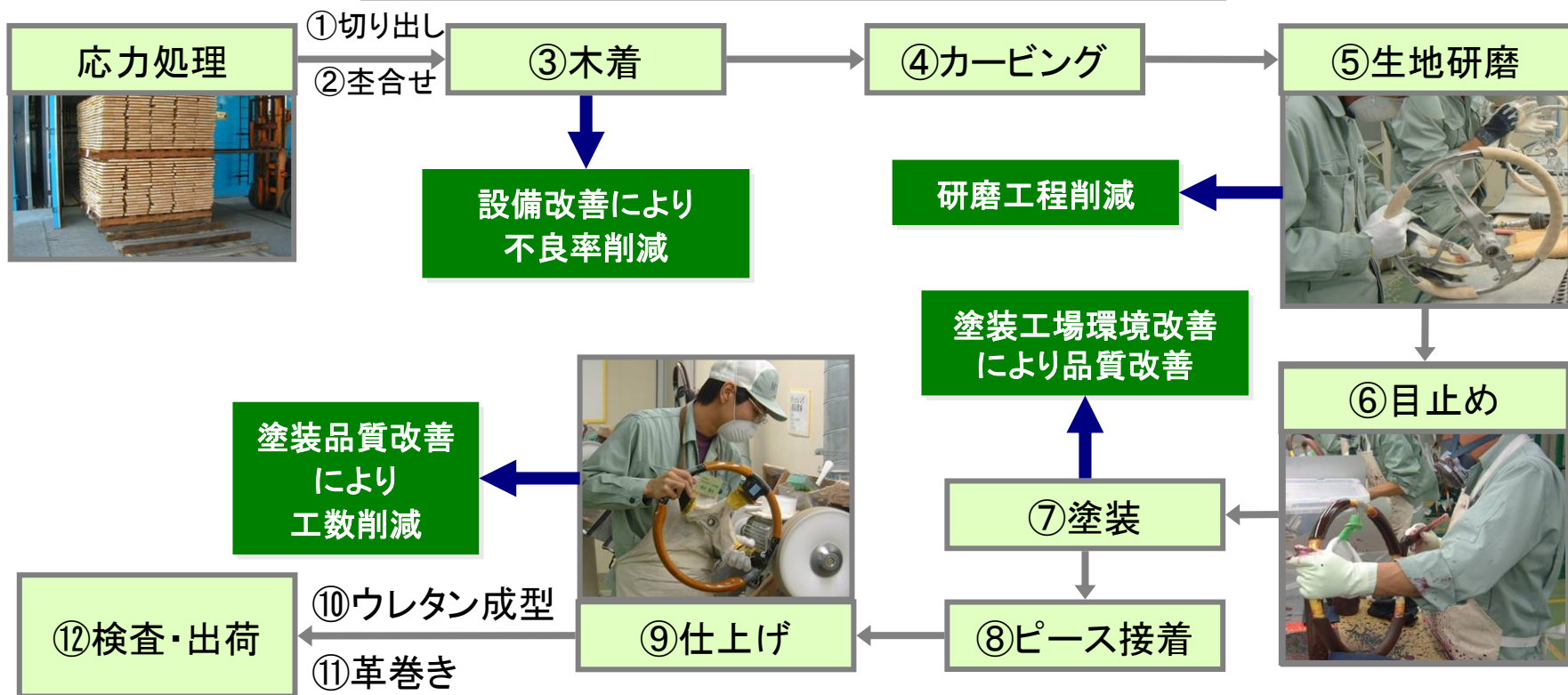
売上構成: 1,972百万円(10/10期)



自動車関連事業の事業内容

1. 「純木製ハンドル」が主力。美観、強度、触感に優れた逸品。
2. 工業“技術”と匠の“技”が融合。
3. 東海理化Gとの合併会社MTWが製造。トヨタ生産方式を実践。

主力製品「純木製ハンドル」の製造工程



ミロクグループの“モノづくり”と“モノづくりの基本理念”

— MIROKUグループの“モノづくり” —

最新の工業“技術”と
匠の“技”の融合

高い精度と堅牢さ

自然素材へのこだわり
(地球環境に配慮)、
“五感”に訴求

“モノづくりの基本理念”

HONESTY

- モノづくりに正直であること。 ……モノづくりに込める匠の技と心
- 技術に正直であること。 ……常に最良をめざす一途な探究心
- お客様に正直であること。 ……お客様の声に真摯に耳を傾けること



連結業績の実績と予想



連結決算概要

(百万円、%)

	09/10期	10/10期	前年同期比	11/10期	前年同期比
	(実績)	(実績)		(予想)	
売上高	11,928	10,544	88.4	9,650	91.5
営業損益	30	▲179	—	▲280	—
経常損益	242	307	126.4	0	0.0
持分法投資利益	26	145	5.5倍	93	64.1
当期純損益	226	233	102.8	20	8.6

売上高

10/10期 : 自動車関連事業は回復したが、猟銃事業の落ち込みが大きく、減収。
11/10期予 : 猟銃事業の減収が続き、工作機械、自動車関連も不透明感強く、減収。

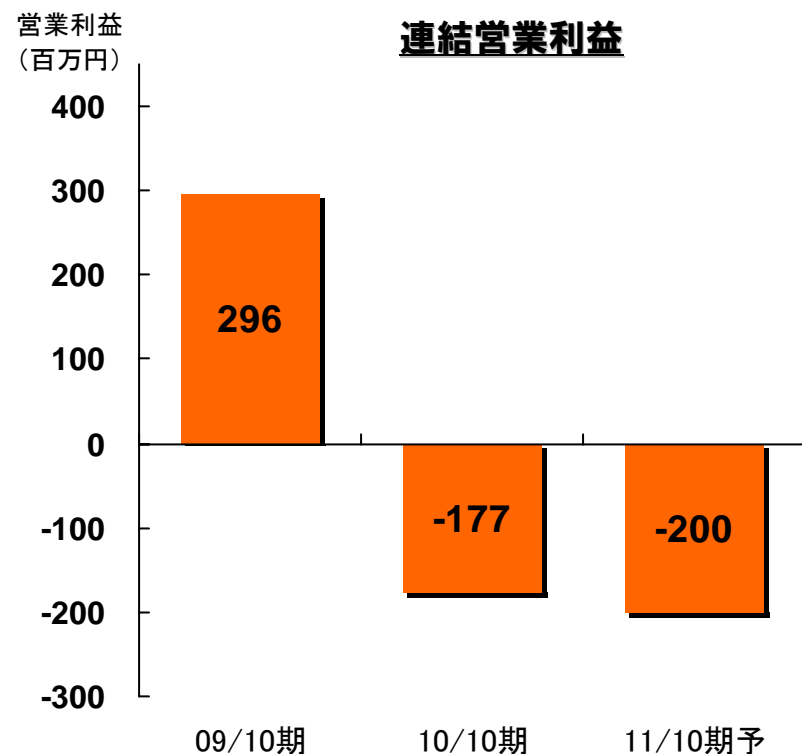
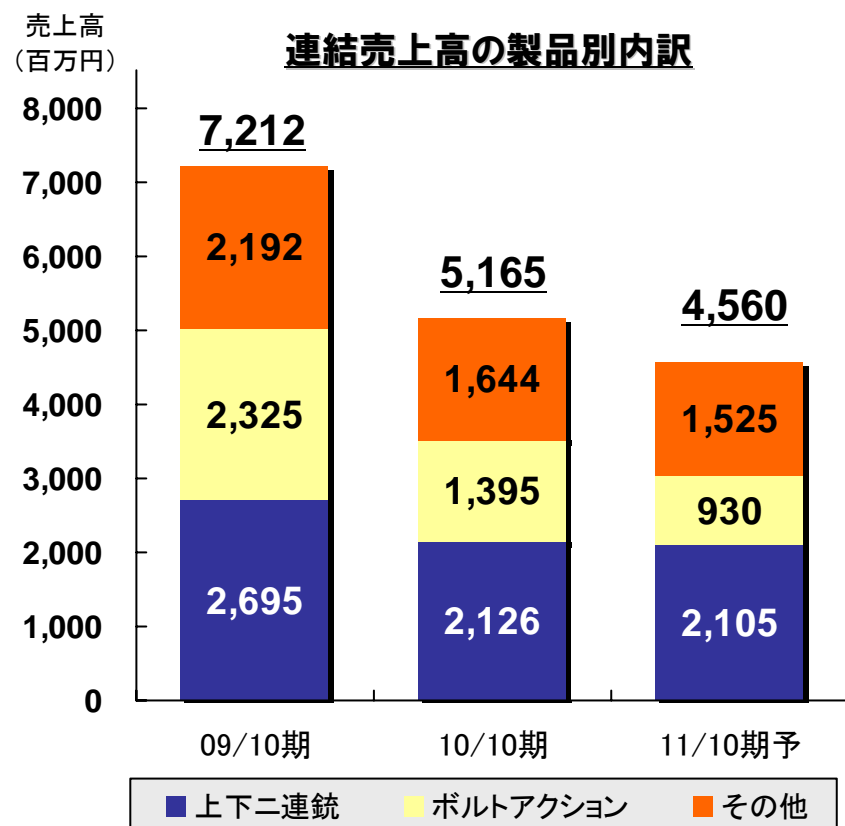
営業損益

10/10期 : 猟銃事業が営業赤字に転落。工作機械事業の増益でカバーできず。
11/10期予 : 猟銃事業において期後半の利益底打ちを目指す、赤字は拡大。

経常損益

10/10期 : 助成金収入に持分法投資利益の増加が加わり、前年同期比126%を確保。
11/10期予 : 持分法投資利益も前年比減で営業損失をカバーできず収支イーブン。

猟銃事業



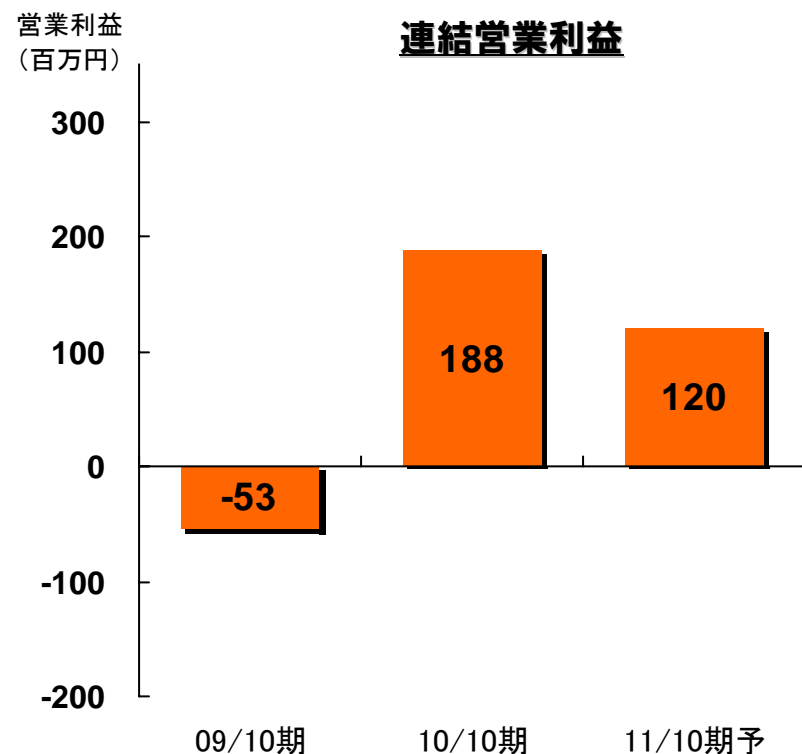
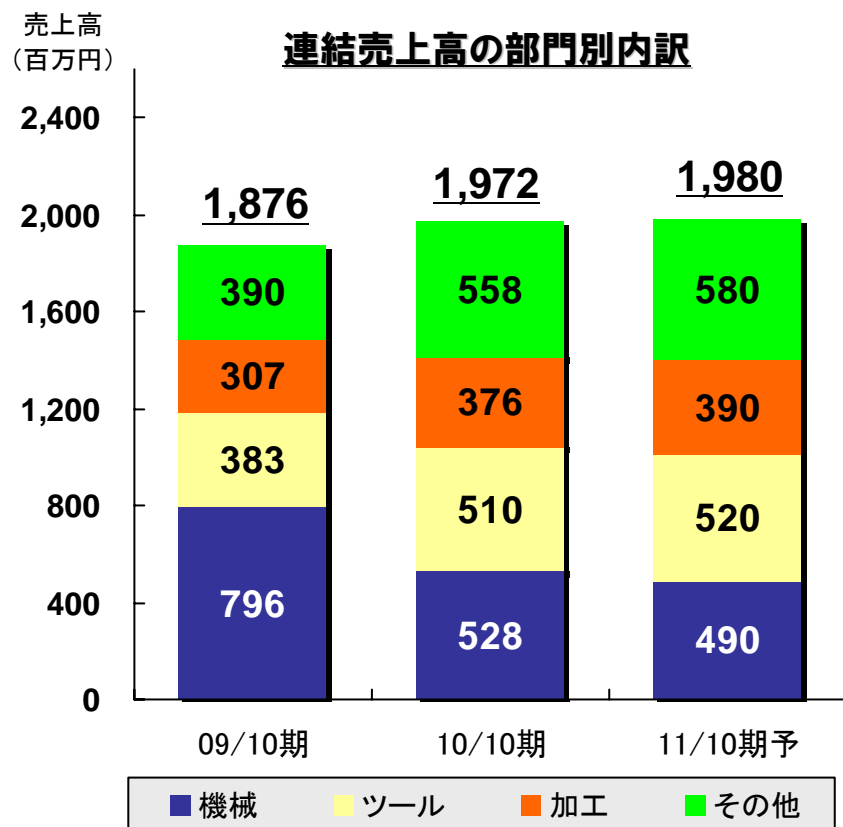
売上高

10/10期 : 米国及び欧州市場での流通在庫の過剰傾向が続き、大幅に減少。
 11/10期予 : 景気回復の停滞が予想され、購買意欲は高まらず、減少が続く見通し。

営業利益

10/10期 : 売上減少のスピードに生産体制の再構築が追いつかず、赤字に転落。
 11/10期予 : 売上減少は続くものの、生産体制の見直し等により、赤字拡大を抑制。

工作機械事業



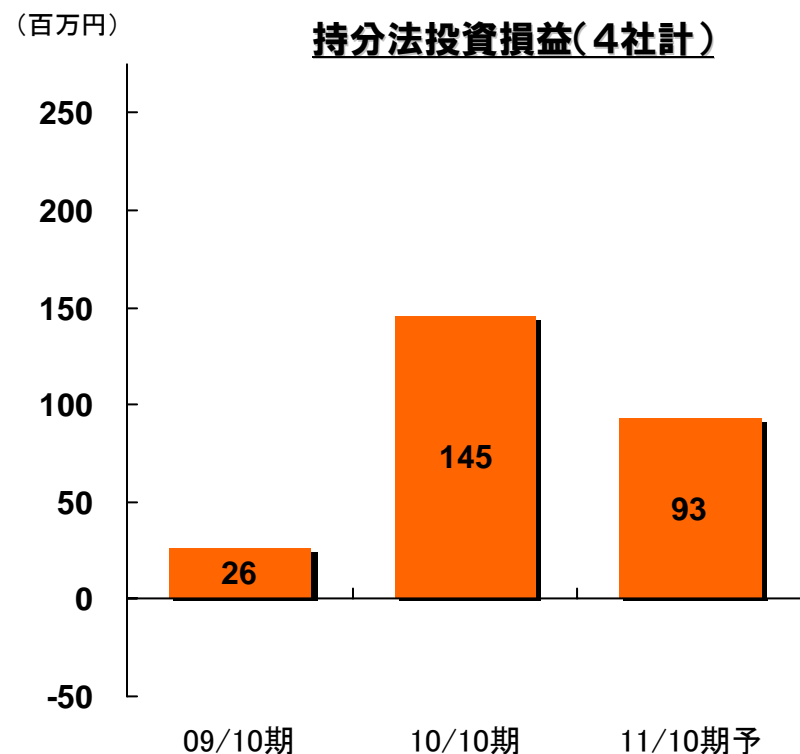
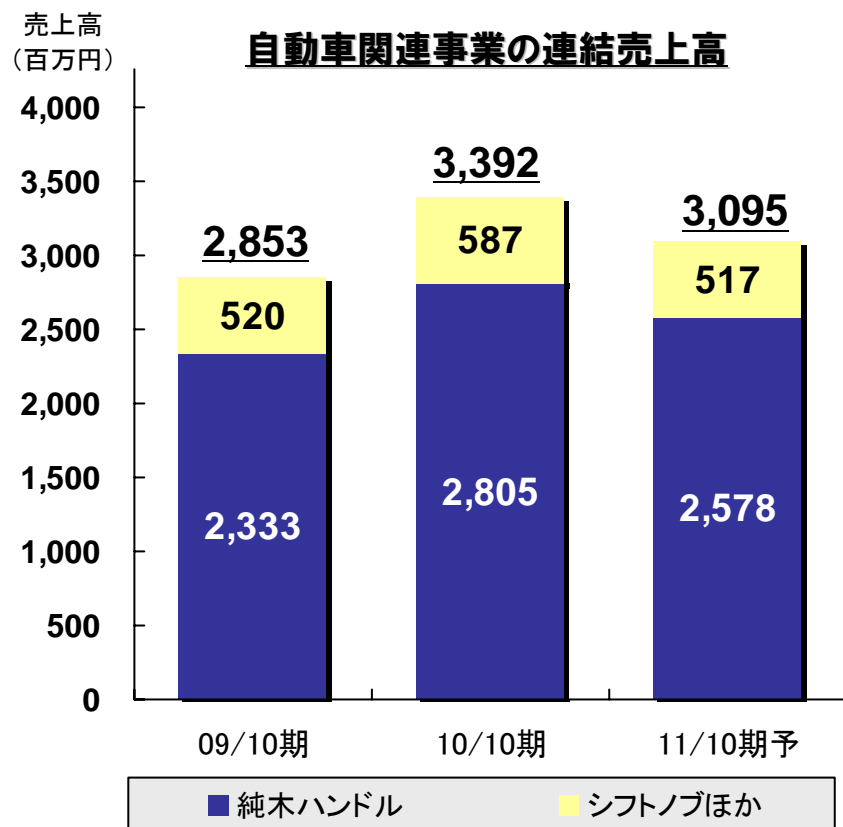
売上高

10/10期 : 機械部門は減少となったが、ツール、加工の回復でカバー。
 11/10期予 : 自動車・金型関連業界の設備投資意欲は低く、大幅な回復には至らない。

営業利益

10/10期 : コスト体質を強化したところに予想以上の需要回復。利益が大幅に改善。
 11/10期予 : 新製品開発等に絡み、材料費、経費増を織り込むが、黒字定着を目指す。

自動車関連事業／持分法投資損益(4社計)



自動車 関連

10/10期 : 各国支援策により新車販売台数が増加、純木ハンドル、シフトノブも増加。
11/10期予 : 新車販売の一服感と高級車市場の需要構造変化で前年比減。

持分法 投資損益

10/10期 : MTWの09/10下期以降の収益改善が利益回復に大きく貢献。
11/10期予 : 全体の売上減が影響、持分法投資利益も減少。

(ご参考) 連結決算概要

(百万円、%)

	09/10期 (実績)	10/10期		11/10期	
		(実績)	前年同期比	(予想)	前年同期比
売上高	11,928	10,544	88.4	9,650	91.5
猟銃事業	7,212	5,165	71.6	4,560	88.3
工作機械事業	1,876	1,972	105.1	1,980	100.4
自動車関連事業	2,853	3,392	118.9	3,095	91.2
営業利益	30	▲179	—	▲280	—
猟銃事業	296	▲177	—	▲200	—
工作機械事業	▲53	188	—	120	63.8
自動車関連事業	23	36	156.5	20	55.6
経常利益	242	307	126.9	0	—
持分法投資利益	26	145	457.7	93	64.1
当期純利益	226	233	103.1	20	8.6

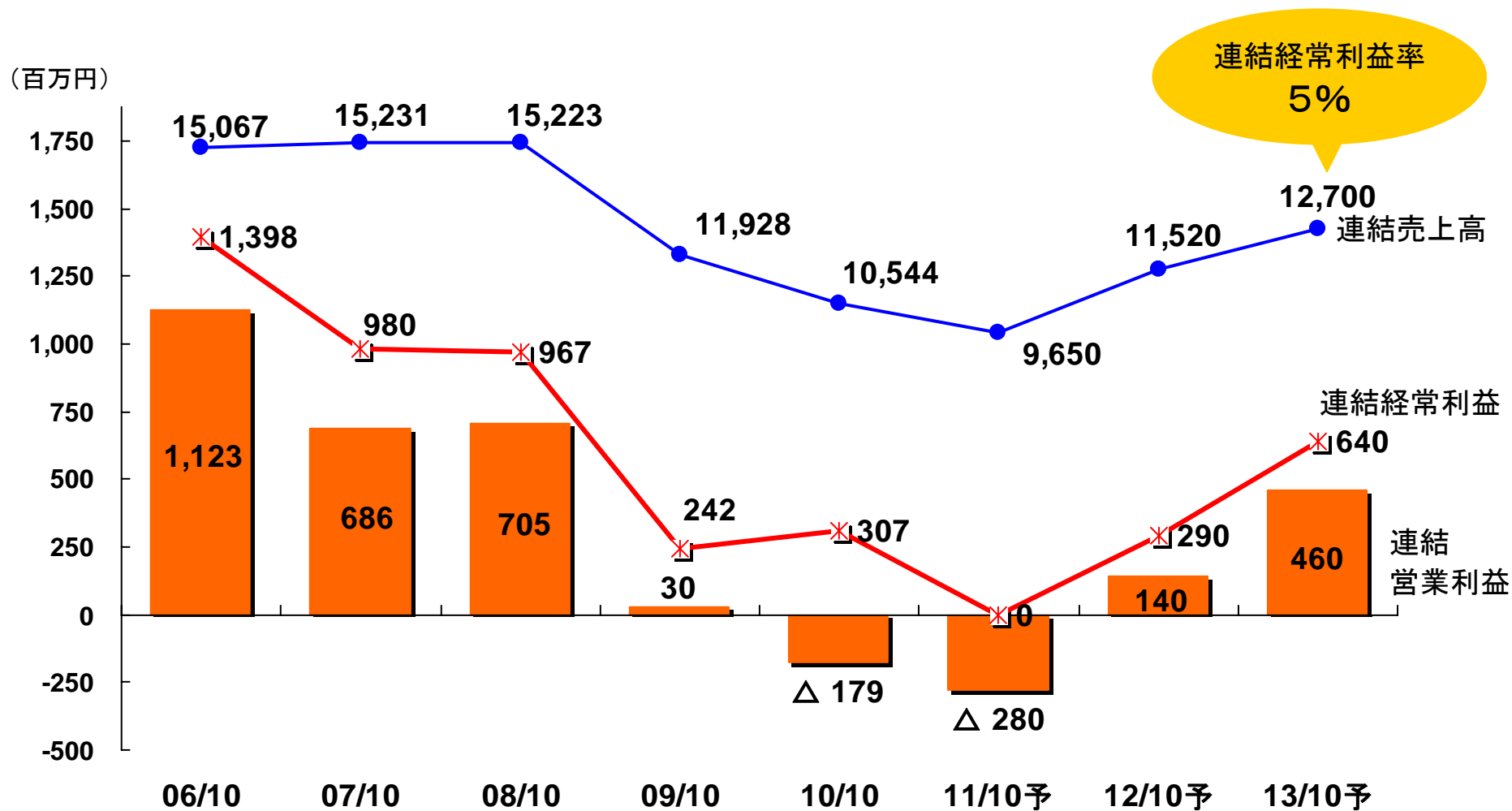


2011 中期経営計画



中期経営計画策定の狙い

2011/10期を底として連結業績の低迷から脱却、連結経常利益率5%以上を目指す



事業別想定環境

急激に縮小したマーケットは、回復しても元の形には戻らない

猟銃事業

足元は厳しいが、2012年からは回復基調

顧客の低価格指向は継続し、他社との厳しい競争は続く

- ✓ 魅力的な新製品が求められる

工作機械事業

中国や東南アジア等の新興国が台頭し、低価格品が増加

- ✓ 新興国の販売が伸びてくる
- ✓ 汎用機だけでなく専用機も低価格の製品が求められる

自動車関連 事業

高級車市場の需要構造が変化してくる

- ✓ 純木製ステアリングハンドルの初搭載から10年が経過
- ✓ 次世代のハンドル等の模索が必要

猟銃事業の戦略

収益を確保するため損益分岐点の引き下げと売上の増加

(百万円)

	10/10期	11/10期	12/10期	2013/10期	
	実績	予想	予想	目標	10/10期比
売上高	5,165	4,560	5,400	6,000	+835
営業利益	▲177	▲200	146	368	+545

施策1

•損益分岐点の引き下げ

⇒組織再編等、グループあがての原価低減活動の推進

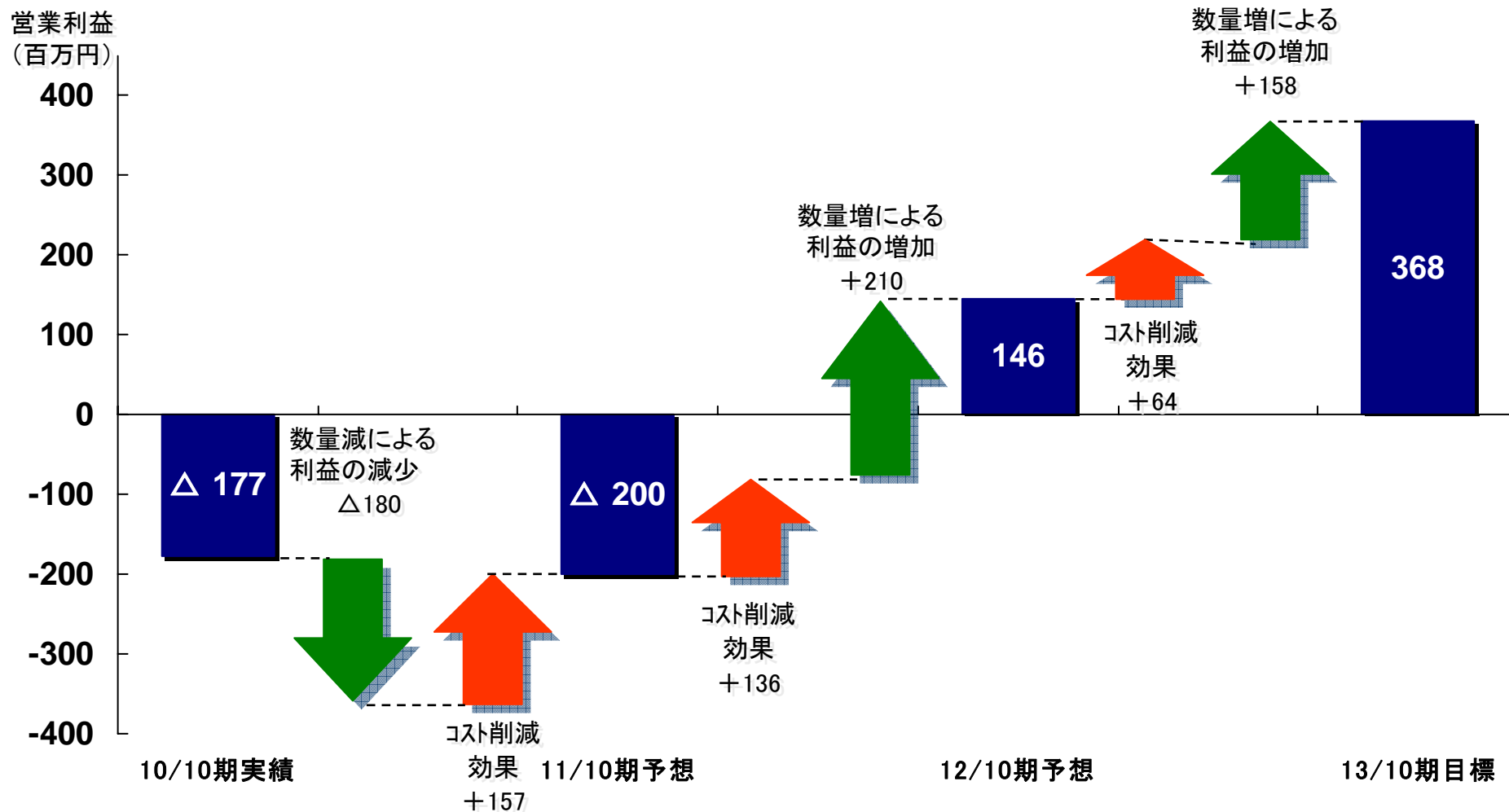
施策2

•売上の増加による利益の積み上げ

⇒新製品等による購入マインドの喚起

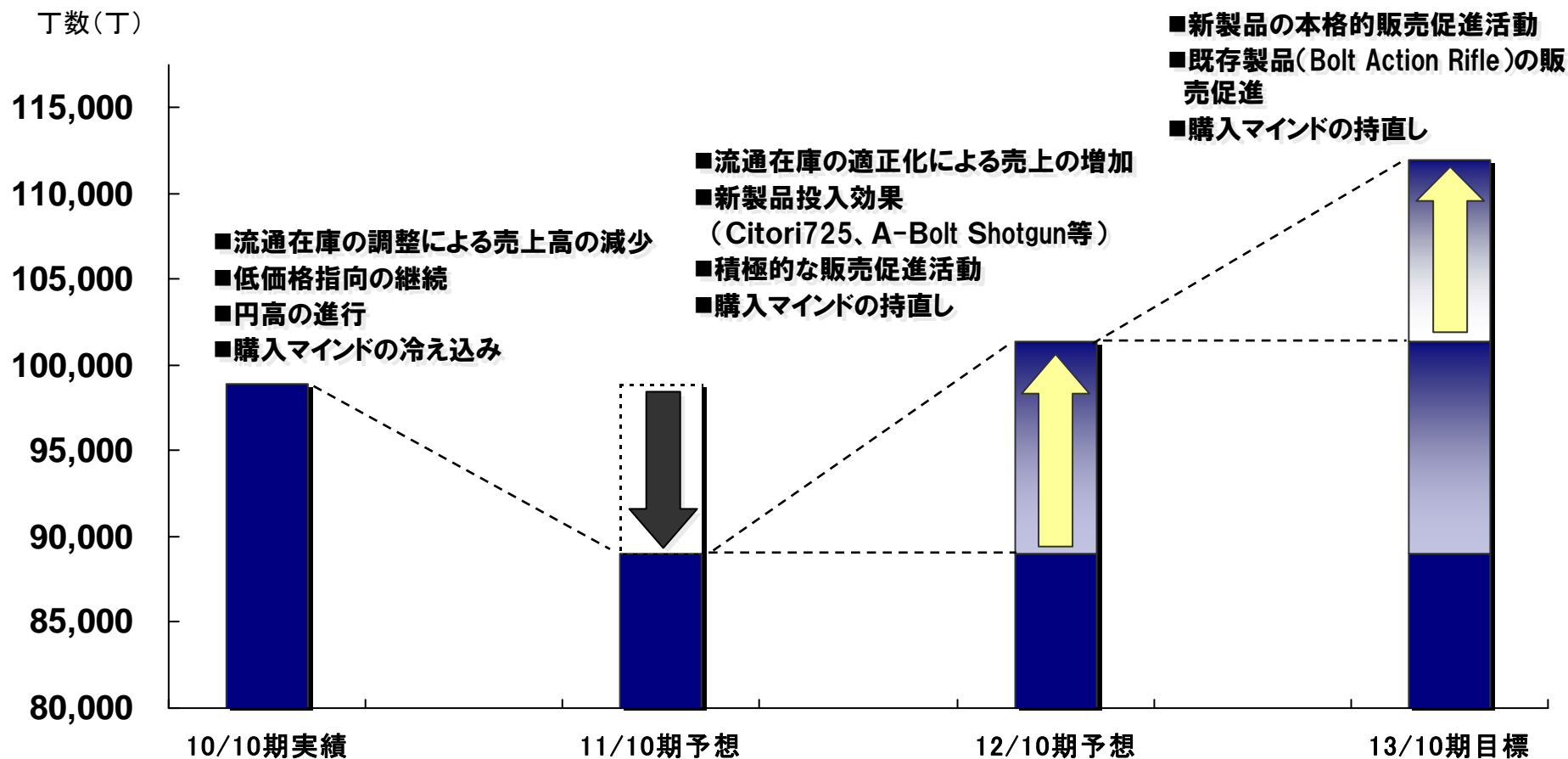
猟銃事業：利益回復のシナリオ

改善等によるコスト削減効果と数量増加の両輪で利益を確保



猟銃事業：売上増加のシナリオ

新製品等のタイムリーな投入、販促活動により売上増加を目指す



工作機械事業の戦略

需要構造の変化を前提とした事業構造改革の推進

(百万円)

	10/10期	11/10期	12/10期	2013/10期	
	実績	予想	予想	目標	10/10期比
売上高	1,972	1,980	2,300	2,710	+738
営業利益	188	120	183	273	+85

機械部門

- 製造及び設計部門の効率化・合理化
- ガンドリルマシンの廉価な汎用機・専用機の開発

ツール部門

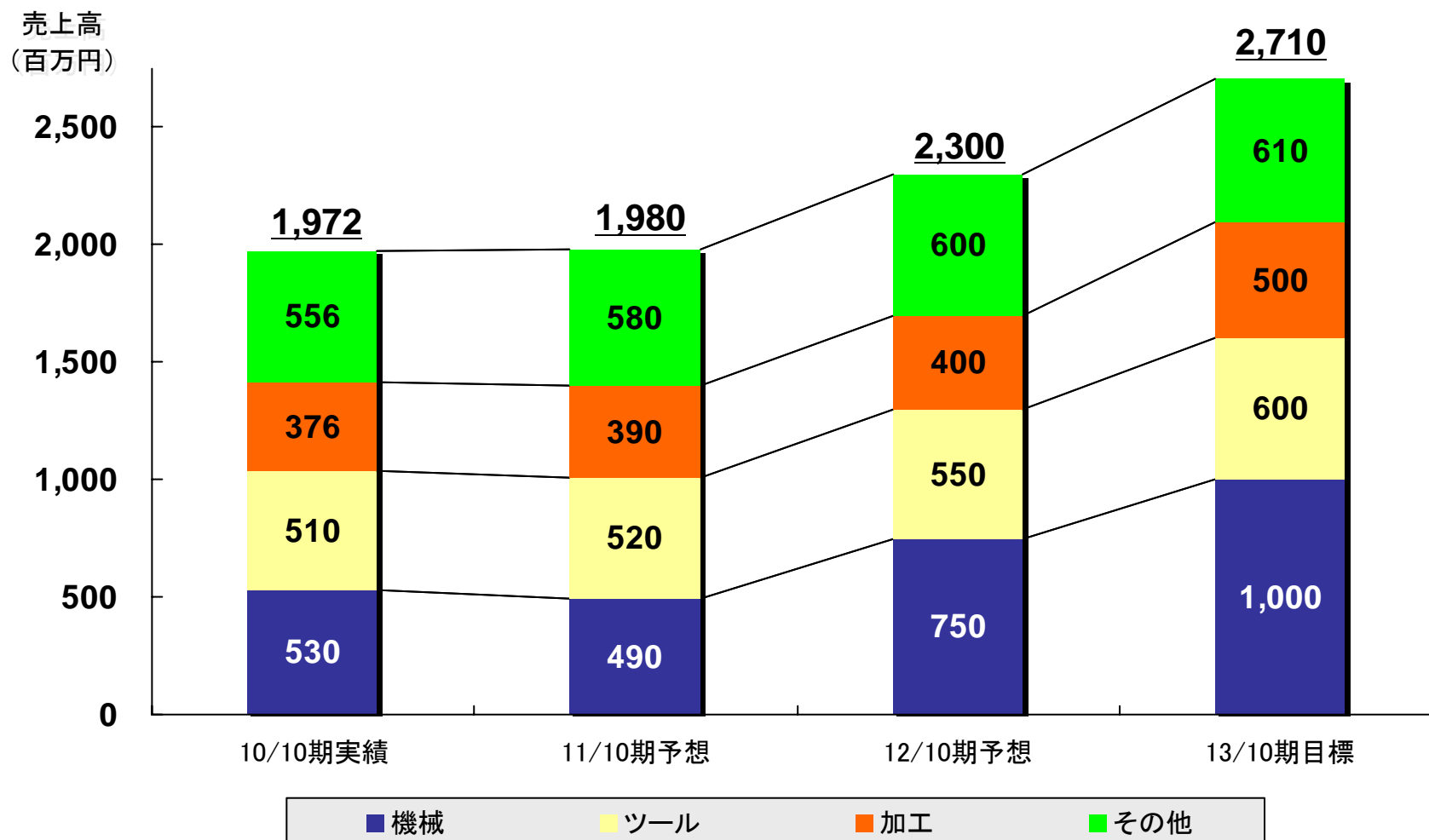
- 需要獲得に向けた営業戦略

加工部門

- 営業体制の強化
⇒営業エリアを拡張、新たな顧客の獲得

工作機械事業：売上増加のシナリオ

「売れるところで売る」⇒中国等新興国への販売と国内営業の強化



自動車関連事業の戦略

需要構造が変化するなかで、常に勝ち抜く企業体質の構築

(百万円)

	10/10期	11/10期	12/10期	2013/10期	
	実績	予想	予想	目標	10/10期比
売上高	3,392	3,095	3,825	4,025	+633

(注)持分法適用会社であるMTW(ミロクテクノウッド)が中核会社であり、持分法による投資利益の増減を通じて、連結業績に反映されます。

施策1

- 魅力ある新商品の開発・提案
⇒純木製ハンドルに続く、次世代の収益基盤を狙う

施策2

- 生産効率の継続的な改善
⇒自工程完結、トヨタ生産方式等の推進

「2011 中期経営計画」

利益が出せる体制構築

猟銃事業

高品質が前提

「2011 中期経営計画」

安定した利益の積み上げ

工作機械事業

市場が求める「品質と価格のバランス」に柔軟に対応

トップラインの維持・成長

自動車関連事業

需要構造の変化に柔軟に対応する体制の構築

(補足) 連結収益の目標と予想

(百万円)

	10/10期 実績	11/10期 予想	12/10期 予想	13/10期	
				目標	10/10期比 (百万円)
売上高	10,544	9,650	11,520	12,700	+2,156
猟銃事業	5,165	4,560	5,400	6,000	+835
工作機械事業	1,972	1,980	2,300	2,710	+738
自動車関連事業	3,392	3,095	3,825	4,025	+633
営業利益	▲179	▲280	140	460	+639
猟銃事業	▲177	▲200	146	368	+545
工作機械事業	188	120	183	273	+85
自動車関連事業	36	20	34	37	+1
共通	▲227	▲220	▲223	▲223	+4
経常利益	307	0	290	640	+333
持分法投資利益	145	93	118	124	▲21
当期純利益	233	20	170	380	+147



(ご注意)

本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。

